

日本国の排他的経済水域における

水産動植物の採捕の承認証

Certificate for Catching of Marine Animals and Plants
for Experiment / Research in the Exclusive Economic Zone of Japan

1 承認証番号 016
(Certificate No.)

2 試験研究機関 [申請書取扱機関]
(Scientific Research Institution [Applicant])

名称 グリーンピース調査研究所
(Name) Greenpeace Reserch Laboratories
住所 Innovation Centre Phase 2 Rennes Drive University of Exeter Exeter, EX4 4RN
(Address) Devon, UK

3 船 舶
(Vessel)

名称 虹の戦士号 登録番号 5300481
(Name) (R/V Rainbow Warrior) (Registration No.)
総トン数 555.00 トン 船長の氏名 ダニエル リゾッティ
(Gross Tonnage) (tons) (Captain's Name) (Mr. Daniel Rizzotti)

4 試験研究の目的
(Purpose of Experiment/Research)

- a) 福島圏内の魚類、貝類、および海藻類を消費する場合に考える現在及び将来の健康被害についての解明
 - b) 海水に放たれた放射能に関する様々な拡散モデルの証明
- a) determine possible current and future health risks of consumption of fish, shellfish and seaweed from Fukushima area
b) Verify various dispersion model for dispersion of radioactivity released in sea water

5 承認内容 (Contents of Certification)

採捕を行う海域 (Research Area)	採捕する水産動植物の種類 (Species of Marine Animals and Plants to be taken)	採捕の方法 (Methods and Instruments)	採捕を行う期間 (Research Period)	採捕予定量 (Planned Amount of Catch)
採捕地点は以下に示す緯度経度で囲んだ水域のうち、領海を除いた我が国排他的経済水域 <地点1> 37° 38.0' N, 141° 05.0' E 37° 38.0' N, 141° 15.0' E 38° 10.0' N, 141° 38.0' E 38° 03.0' N, 141° 05.0' E <地点2> 37° 02.0' N, 141° 05.0' E 37° 02.0' N, 141° 15.0' E 36° 50.0' N, 141° 10.0' E 35° 43.0' N, 141° 10.0' E 35° 43.0' N, 141° 00.0' E 36° 50.0' N, 141° 00.0' E Sampling positions are the exclusive economic zone of Japan except the territorial waters within the enclosed areas with the above latitudes and longitudes.	さお釣り、手釣り及びびたも網により採捕される水産動植物 Marine animals sampled by using lines and small nets	さお釣り、手釣り及びびたも網 lines and small nets	承認の日から5月31日まで From the day of approval To 31 May 2011	8種類程度のサンプルで、水産動植物を約50個体以内採捕する Approximately 8 species to be sampled and no more 50 in total

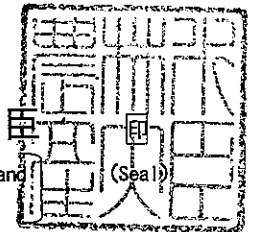
6 制限又は条件 (Restrictions or Conditions)

裏面のとおり。
According to the back side.

平成23年4月28日
(28, 04, 2011)

農 林 水 産 大

Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan



制限又は条件

1. 水産動植物の放射能濃度の測定にあたっては、ゲルマニウム半導体検出器 (germanium semiconductor detector) による検査を行うべきことや通常摂取する状態において検査すべきこと等の我が国の統一の検査手法に基づく検査を実施すること。

(参考)

- ・分析方法については、「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」(平成14年3月 厚生労働省医薬局食品保険部監視安全課)の「2 ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法」)
- ・検体の処理方法については、「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」(平成4年 文部科学省)及び「水産生物放射能分析技術研修会 試料の採取及び調整方法について」(平成23年4月15日 (独)水産総合研究センター)

2. 水産動植物の採捕に当たっては、関係法令を遵守すること。

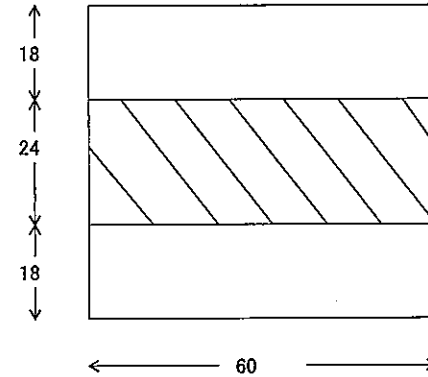
3. 以下の規定を遵守すること。

- ・承認証は船橋内又はこれに準ずる場所に備えておくこと。
- ・農林水産省告示に定められた旗を掲げること。
- ・権限ある公務員が関係法令を履行する目的で当該船舶の乗船及び臨検を容易にするために指示した場合には、直ちにこれに従うこと。
- ・調査終了後、調査結果を速やかに農林水産大臣に提出すること。

4. 制限又は条件に違反した場合は、直ちに承認は取り消されること。

○農林水産省告示第1101号

ア 排他的経済水域における漁業等に関する主権的権利の行使等に関する法律
第8条の承認にかかる船舶の標識



- 備考
- 1 斜線の部分は赤であり、その他の部分は白である。
 - 2 数字は、センチメートルを示す。
 - 3 船上の見やすい位置に掲げること。